

国技建管第 15号
国官技第 523号
国技施第 10号
令和 8 年 3 月 16日

各地方整備局
 企画部 技術調整管理官 殿
北海道開発局
 事業振興部 技術管理企画官 殿
沖縄総合事務局
 開発建設部 技術企画官 殿

大臣官房 技術調査課
 建設システム管理企画室長
 環境安全・地理空間情報技術調整官
 施工企画室長
 （ 公 印 省 略 ）

新技術積算基準類について（通知）

有用な新技術の活用促進を目的に、新技術積算基準類をとりまとめたので通知する。

付 則

本通知は令和 8 年 4 月 1 日以降に入札契約手続きを開始する工事から適用する。
適用にあたっては、別紙 1 及び別紙 2 を参照するものとする。

なお、『新技術積算基準類について（通知）』（令和 7 年 3 月 26 日付け国技建管第 17 号、国官技第 547 号、国技施第 8 号）は、令和 8 年 3 月 31 日をもって廃止する。

1. 目的

「公共工事等における新技術活用スキーム」実施要領では、公共工事等に関する技術の水準を一層高めるために選定された画期的な新技術を「推奨技術」、推奨技術と位置づけるためには更なる発展を期待する部分がある新技術を「準推奨技術」として位置づけ、当該新技術の普及啓発や活用促進等を行うものとしている。

本通知は、有用な新技術の活用促進を目的としてとりまとめたものである。

2. 適用

国土交通省の直轄工事等において、別紙 2 に記す技術を指定して工事発注する場合の積算に適用する。

なお、適用は原則として当該年度のみとする。

3. 新技術積算基準類

新技術積算基準類は、「公共工事等における新技術活用スキーム」実施要領で定める有用な新技術としてこれまでに選定された技術のうち、推奨技術及び準推奨技術について定めた資料で、積算基準（参考資料含む）、特記仕様書記載例及び施工管理基準により構成される。

4. 留意事項

新技術積算基準類の適用にあたっては、以下の点に留意すること。

- ・ 新技術積算基準類は、技術開発者からの見積りや聞き取り調査により整備された資料であることから、事前に提供できる範囲の現場条件等を示したうえで技術開発者に確認をとること。
- ・ 新技術積算基準類に記載する材料等の単価は、『「土木工事工事費積算要領及び基準」の改定について』（令和 8 年 2 月 27 日付け国官技第 454 号）、及び『「土木工事工事費積算要領及び基準の運用」の改定について』（令和 8 年 2 月 27 日付け国官技第 455 号）第 2 章① 1.（2）価格によること。
- ・ 特許使用料は、必要に応じて適正に計上すること。

5. 問合せ先

国土交通省 大臣官房

技術調査課 研究企画係

参事官（イノベーション）グループ 施工企画室 安全技術係

R8-①	建設用3Dプリンティング
R8-②	パワーブレンダー工法（横行施工）
R8-③	トモロボ
R8-④	吸水性泥土改質材「ワトル」
R8-⑤	ウォータージェットはつり処理工法（ジェットマスター JMK-2100）
R8-⑥	高機能床版排水パイプ設置工
R8-⑦	油圧ハンマの騒音防止を使用した鋼管杭の打止め工法
R8-⑧	消雪パイプ温水高圧洗浄「リバーサルクリーニング」
R8-⑨	法面設置点検用階段・非常階段
R8-⑩	砕石メッシュかご「かご楽」
R8-⑪	ハレーサルト張り出し歩道
R8-⑫	SAVEコンポーザーHA
R8-⑬	クマンツメ
R8-⑭	ロードライン マーキュリー ドライサポート工法
R8-⑮	橋梁用埋設型排水樹

「碎石メッシュかご（かご楽）」積算基準

1. 適用範囲

本資料は、「碎石メッシュかご（かご楽）」（NETIS 番号：KT-200133-VE）の施工に適用する。
なお、曲線部での施工にも適用することが出来る。

1-1 適用出来る範囲（以下の全ての条件に該当する場合）

- (1) 中詰用石材はクラッシュラン、栗石、割栗石等で、石径が4～10cmの場合
- (2) かご厚50cm・長さ2m・奥行0.8m, 1m, 1.2mの多段積型の施工
- (3) 基礎面からの直高（設置高）が5m以下

1-2 適用出来ない範囲

- (1) 直積みの場合
- (2) 腐葉土地盤の場合

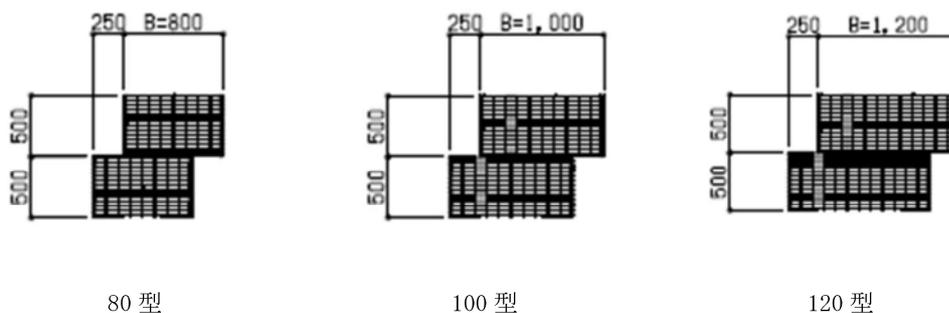
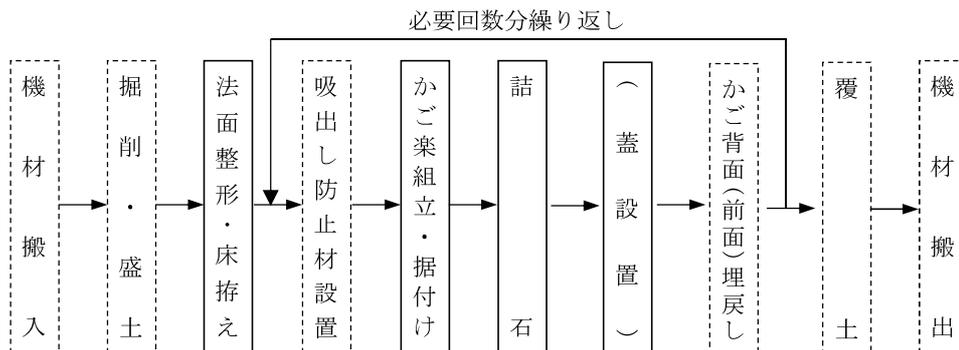


図1-1 「かご楽」(多段積型)の型式

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



- (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分である。
2. 蓋設置は、必要に応じて計上する。

図2-1 施工フロー

3. 機種を選定

機械・規格は、次表を標準とする。

表3.1 機種を選定

機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (2011年規制) バケット容量0.8m ³	台	1	

4. 施工歩掛

かご楽(多段積型)の歩掛は、次表を標準とする。

表4.1 かご楽(多段積型)施工歩掛 (正面投影面積 100m² 当り)

名 称	規 格	単 位	数 量		
			80 型	100 型	120 型
土 木 一 般 世 話 役		人	1.0		
特 殊 作 業 員		〃	1.0		
普 通 作 業 員		〃	2.0 (3.0)		
バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転	標準型 排出ガス対策型 (2011年規制) バケット容量 0.8m ³	h	3.7	4.6	5.6

- (注) 1. 上表には、かご楽組立・据付け、詰石、法面整形・床拵えの他、運搬距離 50m 程度の現場内小運搬作業を含む。() 内は蓋設置を含む場合。法面整形・床拵えの有無にかかわらず適用できる。
2. 中詰用石材の石径は 4~10cm を標準とする。なお、これによらない場合も上表は適用できる。

5. 単価表

(1) かご楽(多段積型) 正面投影面積 100m² 当り単価表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人		表 4.1
特 殊 作 業 員		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
か (多段積型)楽	本体パネル [] 用	m ²	100	
	端部パネル [] 用	枚	(n+c)×2	
	蓋 パネル [] 用	〃	100	
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運 転	標準型 排出ガス対策型(2011年規制) バケツ容量0.8m ³	h		表 4.1 機械損料
諸 雑 費		式	1	
計				

(注) 1. n : 積み段数, c : 根固め段数, B : 奥行き(m), [] かご楽型式

2. 蓋パネルは必要に応じて計上。

(2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(2011年規制) バケツ容量0.8m ³	機-1	機械労務数量→ 0.14

「砕石メッシュかご（かご楽）」

特記仕様書記載例

第〇〇条 かごマット工（多段積型）の施工

本工事のかごマット工（多段積型）の施工にあたって、砕石メッシュかご「かご楽」（NETIS 番号：KT-200133-VE）を見込んでいます。

なお、留意事項として製品規格は以下の通りとする。

網目：40 mm×100 mm

線径：縦 φ6 mm、横 φ5 mm

材料：亜鉛-10%アルミ合金めっき 溶接金網

使用条件：塩素イオン濃度が年平均 450m g / l 以上の塩分濃度の場合は適用不可

「碎石メッシュかご（かご楽）」施工管理基準

1. 出来形管理基準及び規格値

出来形管理基準及び規格値は、「土木工事施工管理基準および規格値」（かごマット工）に準ずる。